

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールは「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医とご相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	0 歳												1 歳												2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳						
		1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳1か月	1歳2か月	1歳3か月	1歳4か月	1歳5か月	1歳6か月	1歳7か月	1歳8か月	1歳9か月	1歳10か月	1歳11か月	(満年齢)													
B型肝炎	☐☐☐	← ① ② →												← ③ →																							
ロタウイルス	☐☐☐	← ① ② →												← ③ →																							
ヒブ	☐☐☐☐	← ① ② ③ →												← ④ →																							
小児用肺炎球菌	☐☐☐☐	← ① ② ③ →												← ④ →																							
三種混合(DPT)	☐☐☐☐	← ① ② ③ →												← ④ →																							
BCG	☐	← ① →																																			
ポリオ	☐☐	2012年度中に国が不活化ポリオワクチンを導入する方針です																																			
MR(麻しん風しん混合)	☐☐													← ① →												← ② →											
おたふくかぜ	☐☐													← ① →												← ② →											
みずぼうそう(水痘)	☐☐													← ① →												← ② →											
日本脳炎	☐☐☐																									← ① ② ③ →											
インフルエンザ	毎秋 ☐☐	インフルエンザ：毎年2回、10月と11月ごろに接種しましょう																																			

接種回数が2回と3回のワクチンがあり、ワクチンの種類によって接種スケジュールが異なります。どちらのワクチンも初回接種の時期が決まっています、それを過ぎると開始できません。

ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合の必要回数を接種するためには、同時接種で受けなければなりません

細菌性髄膜炎はヒブと小児用肺炎球菌の2つのワクチンで予防「髄膜炎ワクチンセット」と覚えましょう

二種混合(DT)：11歳で追加接種(接種対象11-12歳)

MR(麻しん風しん混合)：小学校入学の前年(幼稚園・保育園の年長に相当)1年間に接種(4月～6月がおすすめ)

日本脳炎：9歳で追加接種(接種対象9-12歳)

不活化ワクチン 生ワクチン 定期予防接種の対象年齢 任意接種の接種できる年齢 おすすめの接種時期(数字は接種回数)

- 定期接種：定められた期間内であればほぼ無料で受けられる。 ●任意接種：ワクチンによっては費用助成もあるが多くは有料。
- 接種間隔：次のワクチン接種までの間隔は、不活化ワクチン接種後は1週間以上、生ワクチン接種後は4週間以上です。

同時接種：同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。くわしくはかかりつけ医にご相談ください。日本小児科学会は乳幼児の接種部位として大腿外側部も推奨しています。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/>

VPD 検索